

## 7. 社会調査士

社会調査士とは、社会調査の知識や技術を用いて、世論や市場動向、社会事象等を捉えることのできる能力を有する『調査の専門家』のことです。

激しく変化する社会の現状を把握し、複雑な社会問題の解決を図るためには、社会調査の方法を身につけることが不可欠です。ところが、その重要性が高まっているにもかかわらず、調査の担い手となる専門人材の育成システムはまだ未整備な状態にあります。その重要性と必要性を鑑みて、三つの学会（日本教育社会学会、日本行動計量学会、日本社会学会）の連携協力により、平成20年12月に一般社団法人『社会調査協会』（平成15年11月に発足した『社会調査士資格認定機構』が母体）が創設されました。この『協会』の事業の一つが「社会調査士」の資格認定です。

### 1. 取得方法

認定機構が定めた「標準カリキュラム」に準拠した科目と設置している資格制度参加校（大学）で取得することができます（本学は、平成20年度から参加しています）。調査に関する5科目と実習1科目の単位を取得することで、学部卒業時に資格を申請できます。また、下記科目を3科目以上取得、2科目以上履修中であることを条件に、在学時、就職活動等に活用できる社会調査士（キャンディデイト）証明書を申請できます。

なお、資格取得申請には、社会調査協会が定める費用がかかります。

### 2. 社会調査士の能力

社会調査士は、調査企画から報告書の作成までの社会調査の全過程を体験することにより、基本的な調査方法や分析手法の妥当性、またその問題点を指摘する能力を修得します。

### 3. 認定された本学の社会調査士科目

平成20年度から本学の人間社会学部は社会調査士の科目認定を受け、資格制度に参加しています。社会調査士の標準カリキュラムは、次のAからGまでの7科目になっています。

- A：社会調査の基本的事項に関する科目（90分×15週）
- B：調査設計と実施方法に関する科目（90分×15週）
- C：基本的な資料とデータの分析に関する科目（90分×15週）
- D：社会調査に必要な統計学に関する科目（90分×15週）
- E：多変量解析の方法に関する科目（90分×15週）（E／Fは選択制）
- F：質的な調査と分析の方法に関する科目（90分×15週）（E／Fは選択制）
- G：社会調査を実際に経験し学習する科目（90分×30週）

以上の標準カリキュラムに準拠した本学の開設科目は次のようになっています。

複数設置されている科目については、基本的に所属している学科の科目を履修してください。履修方法は所属している学科によって異なるため、所属学科のカリキュラムを確認し、必ず履修指導を受けてください。

	授業科目名	開設学科	単位
A	「社会科学と社会調査」	現代・心理・福祉	2
B	「社会調査の理論と方法」	現代	2
		心理	2
	「社会調査の基礎」	福祉	2
C	「統計分析基礎」	現代	2
	「情報機器の操作とデータ分析」	福祉	2
	「データ解析Ⅰ」	心理	2
D	「社会経済統計Ⅰ」	現代・福祉	2
	「心理学統計法」	心理	2
E	「社会経済統計Ⅱ」	現代・福祉	2
	「データ解析Ⅱ」	心理	2
F	「フィールドワークと質的分析」	現代・心理・福祉	2
G	「社会調査実習Ⅰ」「社会調査実習Ⅱ」	現代・福祉	4
	「質問紙調査法実習」	心理	2